

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【公表番号】特表 2011-522939 (P2011-522939A)

【公表日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2011-031

【出願番号】特願 2011-512945 (P2011-512945)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/654 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 4/654

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 29 日 (2012.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) Ti、Mg、ハロゲンを含み、少なくとも $0.3 \text{ cm}^3 / \text{g}$ の、水銀法によって測定される $1 \mu\text{m}$ 以下の半径を有する孔による多孔度 (P_F) を有する固体触媒成分；(B) アルミニウムアルキル化合物；及び (C) ハロゲンが第 2 級炭素原子に結合しているモノハロゲン化炭化水素；を含む、オレフィンを重合するための気相プロセス用の触媒系。

【請求項 2】

化合物 (C) が、塩化プロピル、塩化 i - プロピル、塩化ブチル、塩化 s - ブチル、塩化 t - ブチル、2 - クロロブタン、塩化シクロペンチル、塩化シクロヘキシル、1, 2 - ジクロロエタン、1, 6 - ジクロロヘキサン、臭化プロピル、臭化 i - プロピル、臭化ブチル、臭化 s - ブチル、臭化 t - ブチル、臭化 i - ブチル、臭化 i - ペンチル、及び臭化 t - ペンチル からなる群から選択される、請求項 1 に記載の触媒系。

【請求項 3】

触媒成分 (A) が水銀法によって測定して $0.40 \text{ cm}^3 / \text{g}$ より高い多孔度 P_F を有する、請求項 1 又は 2 に記載の触媒系。

【請求項 4】

化合物 (C) を、3 より高い (B) / (C) のモル比を有するような量で用いる、請求項 1 ～ 3 のいずれか に記載の触媒系。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の触媒系の存在下で行う、エチレンの気相 (共) 重合方法。